

## 10月6日(金) おにぎりアクション～おにぎりを食べてSDGs～を行いました

### おにぎりアクションってなあに??



おにぎりアクションは、TABLE FOR TWO が取り組む活動の一つ。おにぎりに関する写真を撮り、SNSに「#OnigiriAction」とともに発信することで、アフリカ・アジアの子どもたちへ給食を届けよう!という活動。SDGsの「飢餓をゼロに」の目標達成に向けた取り組みでもあります。

### 世界と日本と本校の食料事情を知っていますか??

世界の食料事情について、2020年には10人に1人が栄養不足状態にあり、4人に一人が肥満であるというアンバランスな状況があります。

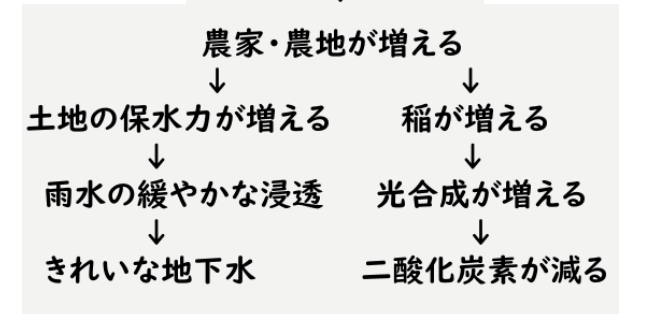
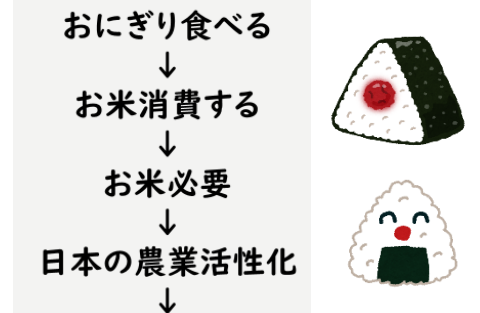
食べ物が食べられずに栄養不足な人々がいる世界。食べ物があふれる日本では考え難いことかもしれませんが、これが世界の現実です。

食が豊かな日本でも食にまつわる課題の一つに、農家の減少による食料生産量の問題があります。

そこで、「おにぎりの力」に注目してみました。

おにぎりを食べると、よい循環が生まれ、近年問題となっている土砂災害や環境問題への一助にもなる可能性を秘めている、ということ学びました。

また、「明るい食の未来」を作り、持続していくために、私たちができることは何かを考えました。「食事は残さず食べる」「必要量以上の食品を購入しない」「おにぎりを食べる」など、それぞれに考えてくれました。



### おにぎりアクション 参加の方法は簡単!!

おにぎりの写真  
おにぎりを作っている写真  
おにぎりにまつわる写真  
を SNS に  
#OnigiriAction  
を付けて投稿するだけ!!

つくろう。食べよう。

あの人に、あの子に、わたしに。愛を込めてにぎる「おにぎり」。その「誰かのため」の気持ちに、世界の子どもたちへの想いも込めて。あなたがおにぎりを食べると、アフリカ・アジアの子どもたちにも温かい給食が届く。

onigiri-action.com

おにぎりアクションは、ただ単純に、アジア・アフリカ地域へ食料を届け、子どもたちの食事を確保し、飢餓をなくす、というだけではありません。その資金を通じて、その土地で育てられた農産物を給食に利用することで地域の農業を発展させ、また、地域の雇用を生む、という持続可能な食のあり方にもつながる取り組みです。



そして、給食時には、おにぎりアクションに取り組みました。  
みんな普段よりもたくさん、おにぎりを食べてくれました!!

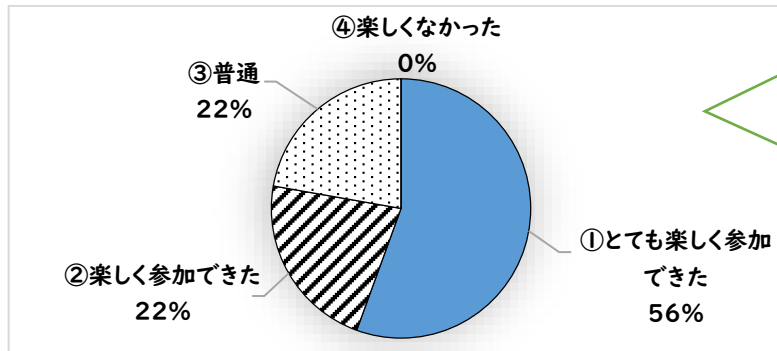
美味しく、楽しく  
OnigiriAction  
(^0^)(^0^)



11月17日の最終日まで生徒玄関前にフォトコーナーを準備しています。自由に写真を撮っておにぎりアクションしてみてください!

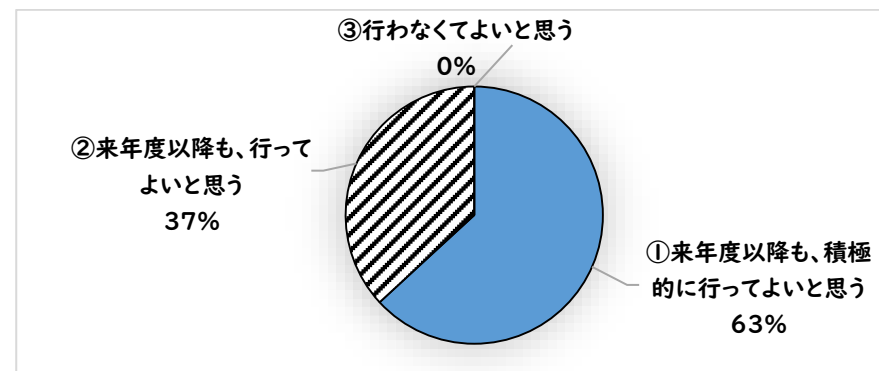
## おにぎりアクション後のアンケート結果より

1. 今日の「おにぎりアクション～おにぎりを食べてSDGs～」はどうでしたか？

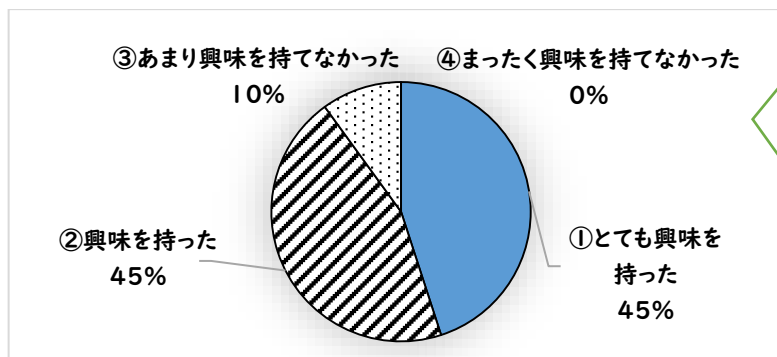


・自分の知らないことを知れた  
 ・世界中での食の問題について知れた  
 ・今の世界のことをわかりやすく知れた

5. 来年度以降も、おにぎりアクションの取組を本校で行うことについてどう思いますか？

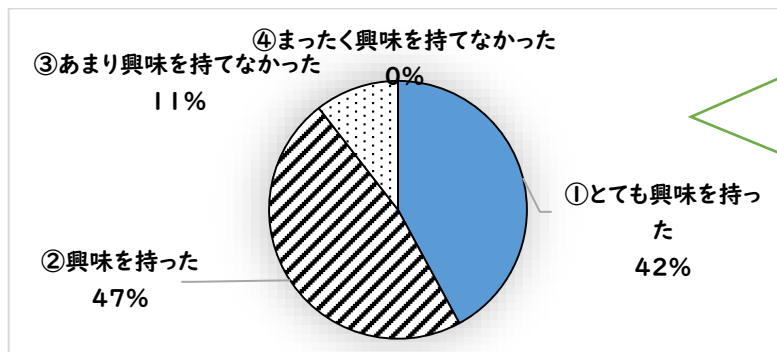


2. 今日のお話の中で、世界の食料事情について、どう感じましたか？



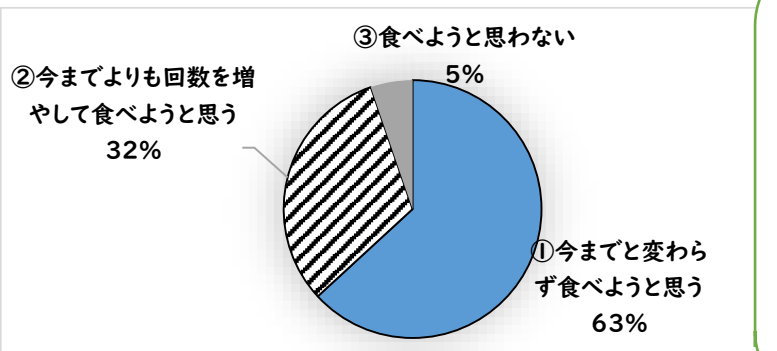
・食べられることが当たり前じゃなくなって思いました  
 ・食べられない人がいる、ということを知ることができた  
 ・10人に1人が十分食べられない食生活を送っていることに興味を持ちました

3. 今日のお話の中で、日本の食料事情について、どう感じましたか？



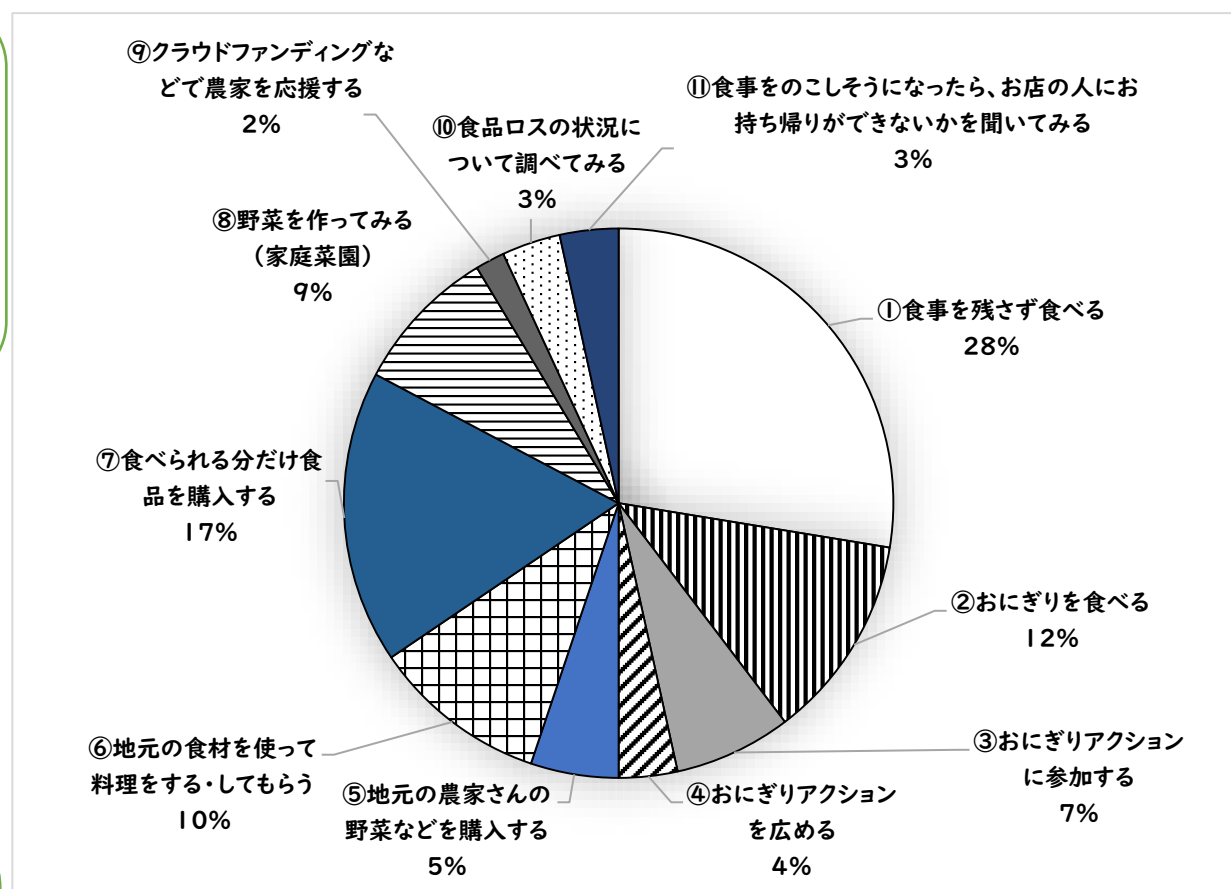
・もっと日本で作られたものを食べようと思いました  
 ・「てまえどり」を意識したいと思いました  
 ・地元の食材を買おうと思いました

4. 今後、給食を食べようと思いますか？



「今までよりも回数を増やして食べようと思う」と回答してくれた生徒が32%もいてくれたことは、とても嬉しかったです！  
 実際に「少しでも食べよう」としていただいている皆さんの姿があり、とっても嬉しいです！  
 給食室で待っています(^v^)

6. 今後、食の未来を明るくするために、あなたがやっていこうと思うことはありますか？



皆さんが、明るい食の未来のためにいろんなことをやっていこうと思ってくれてとても嬉しい気持ちになりました！

「やっていこう」「やってみよう」と思ってくれたことを短い期間でもよいので、実際に「やる」ことで、皆さんの未来の食は明るいものになるでしょう(^v^)/

毎日の食事、これまでの生活をもう一度振り返ってみて、今自分にできることから始めていきましょう!!